

ドデカボチャコンクール

私たち3・4年生は、5月から学校の畑でドデカボチャを育ててきました。9月17日は、そのコンクールでした。私たちは4こ出品しました。一番小さな4号は、ジャックオーランタンにしました。テレビ局の人に取材されて、「これはあなたたちがくりぬいたの」と聞かれました。私は、「はい。自分たちでくりぬいて作りました」と答えました。

結果発表になりました。私たちが育てた中で一番大きいのは2号で、33キロでした。優勝したのは、西土佐のおじいさんが育てた90キロのドデカボチャでした。あの4号が高知県印賞でした。りんご1箱をもらってうれしかったです。



(拳ノ川小学校 4年)

あぜち りのあ にしやま たね
畦地 梨乃亜・西山 (種)

汗だくになったカレー作り

10月6日に防災参観日がありました。1時間目は防災学習をしました。その後、に青少年の家で班に分かれてカレー作りをしました。僕は火の担当でした。火の担当は、火をつけて火が消えないように薪を入れていく仕事でした。そしてご飯が炊けたら、汗だくになってカレーを煮込みました。なんとかカレーが完成しました。「いただきます」をして、みんなで「美味しいね」と言いながら食べました。最後に災害が起きたときに役立つ豆知識を3つ習って学校に帰りました。今日のことを災害が来た時に活かし、困っている人がいたら助けてあげたいです。



(上川口小学校 4年)

すぎもと こうすけ
杉本 浩輔

貴重な体験

私は「カツオマイスター」の取り組みに参加しました。これは、佐賀中3年生が、カツオのさばき方やタタキの作り方を学ぶものです。参加した理由は、黒潮町の郷土料理についてもっと知りたいと思ったし、この体験が将来の役に立つと考えたからです。

7回の練習後、実技発表がありました。当日は、(失敗しないかなと、とても緊張しました。カツオは今までで一番大きいカツオでした。大勢の方が見ていて手が震えました。頭が固くて切り落とせなかったり、さばき方を忘れたり、身を多く切り落としてしまったりと色々失敗してしまいました。それでも、家族や先生方が「おいしい」「上手やね」と褒めてくれたので嬉しかったです。

「カツオマイスター」の取り組みは、佐賀中でしかできない貴重な体験です。今回の体験を通して様々なことを知り、感じる事ができました。さばき方を丁寧に教えてくださった地域の方にも感謝したいです。



(佐賀中学校 3年)

みやざき ゆいは
宮崎 唯羽